

2025年3月期
第2四半期決算説明会

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2024年11月7日

アステリア株式会社

◆本社事業 ✓ 企業向けソフトウェア製品の
開発・販売

◆子会社 ✓ AI研究開発(日本)
✓ ソフトウェア開発(シンガポール、中国)
✓ 企業投資(米国)

◆株式市場 東証プライム(3853)
◆設立 1998年9月
◆資本金 22億7,534万円
◆従業員数 136名(連結)

(2024年9月30日現在)

ソフト業界で
ノーコード
ブロックチェーン
ウェルビーイング
など先進分野を
牽引!!



サイボウズ等と2022年に発足

ノーコード推進協会



ブロックチェーン推進協会



国内最大のブロックチェーン団体



CWO(最高ウェルビーイング
責任者)を新設



主力製品: データ連携ツール「ASTERIA Warp」

◆ データ連携ツールのスタンダード

◆ 18年連続市場シェアNo.1



ノーコードでのデータ連携が
10,000社以上で導入済み

出典: テクノ・システム・リサーチ
「2024年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」

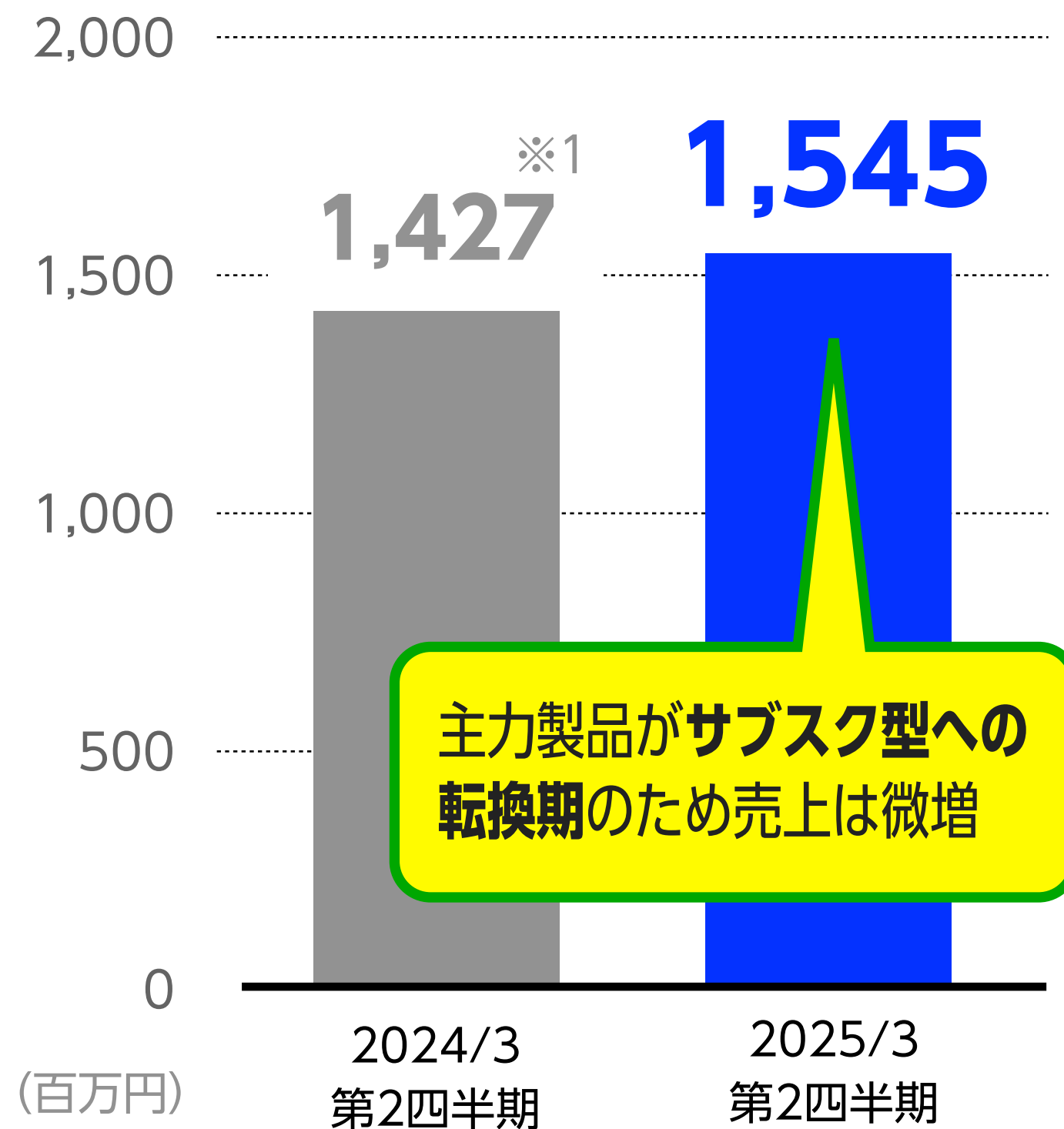
決算の概要と 業績予想の上方修正

2025年3月期 第2四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

ソフトウェア事業が順調に推移

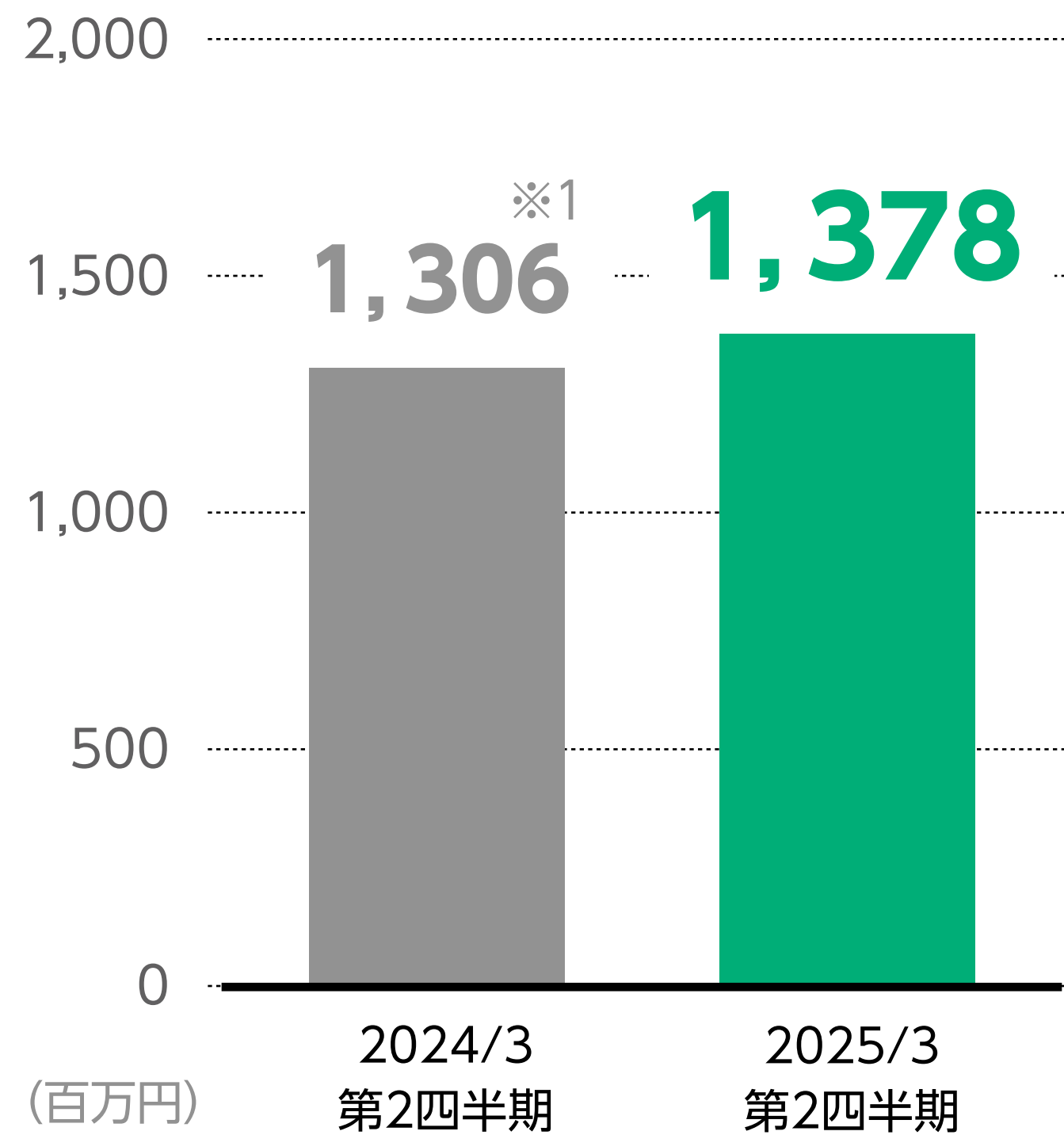
売上収益

業績予想 進捗率48%



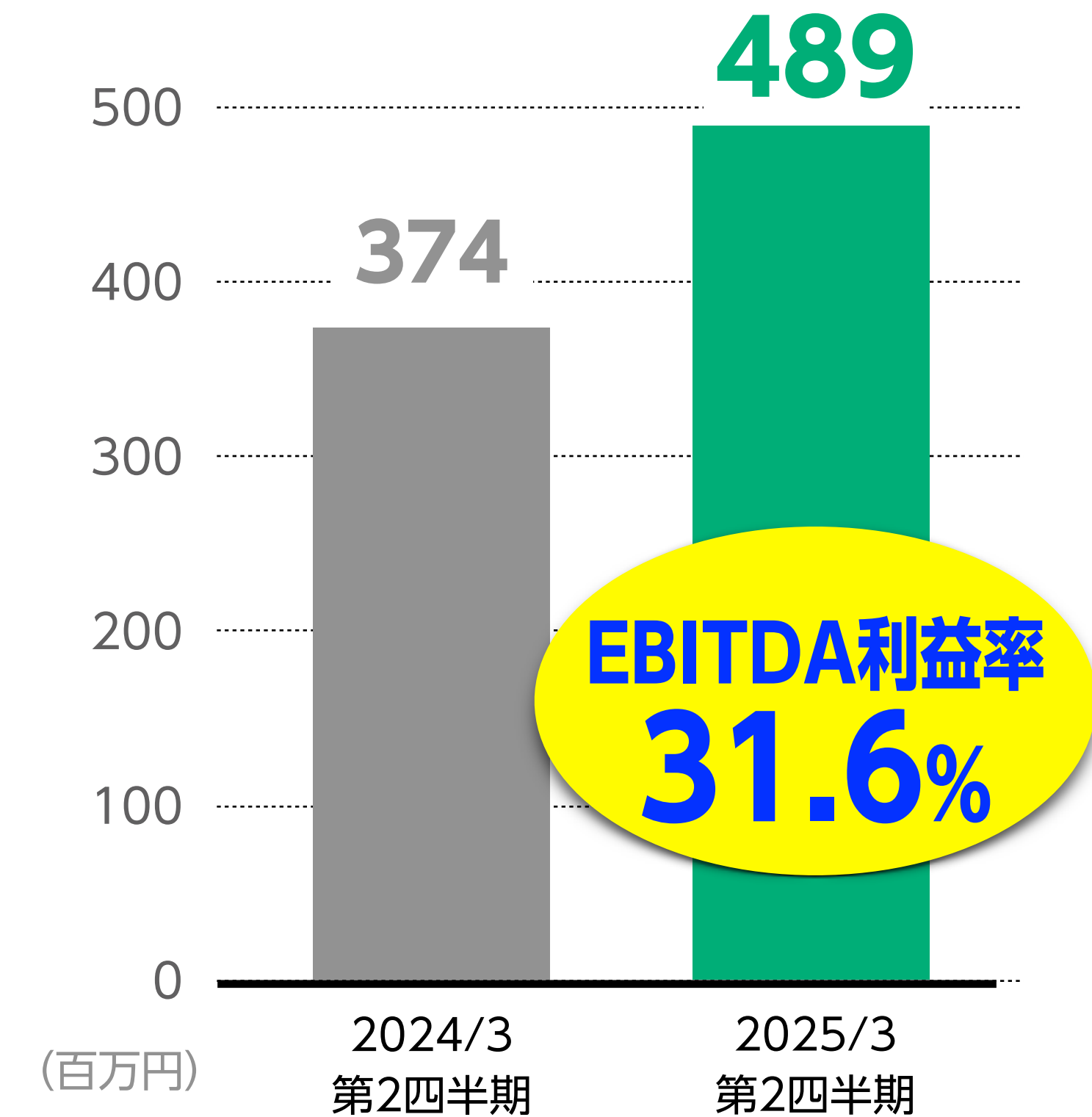
売上総利益 (粗利)

粗利率 約9割



調整後EBITDA^{※2}

高いEBITDA利益率



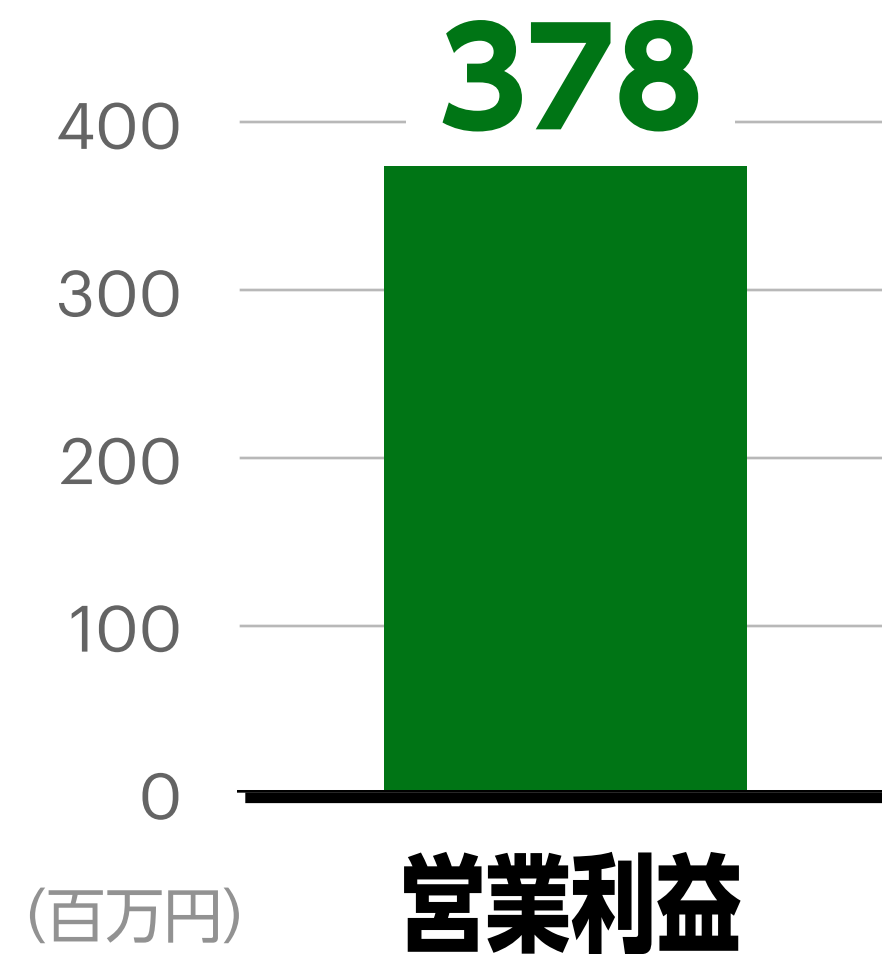
※1 This Place売却 (2024年3月)により、前年同期はソフトウェア事業に国内デザイン事業 (非継続) が加わった数値

※2 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ± 調整項目 (のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等)

ソフトウェアの成長とGorilla株売却で黒字へ

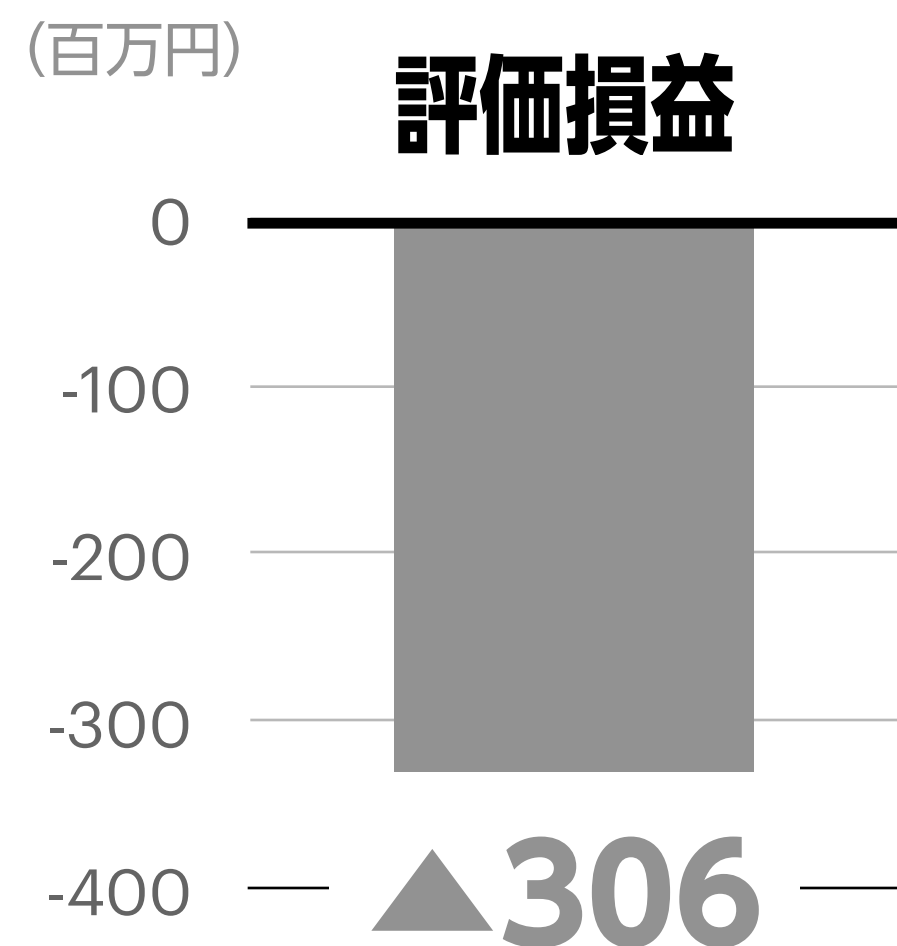
ソフトウェア セグメント

各製品の
着実な成長が寄与



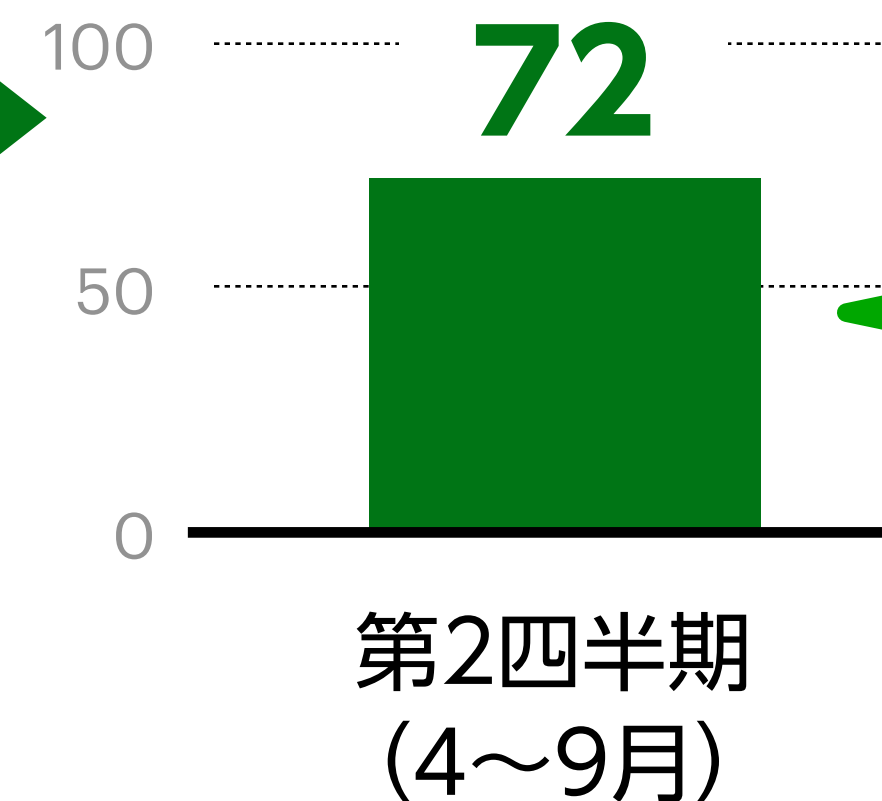
投資 セグメント

Gorilla株式を
全て売却完了

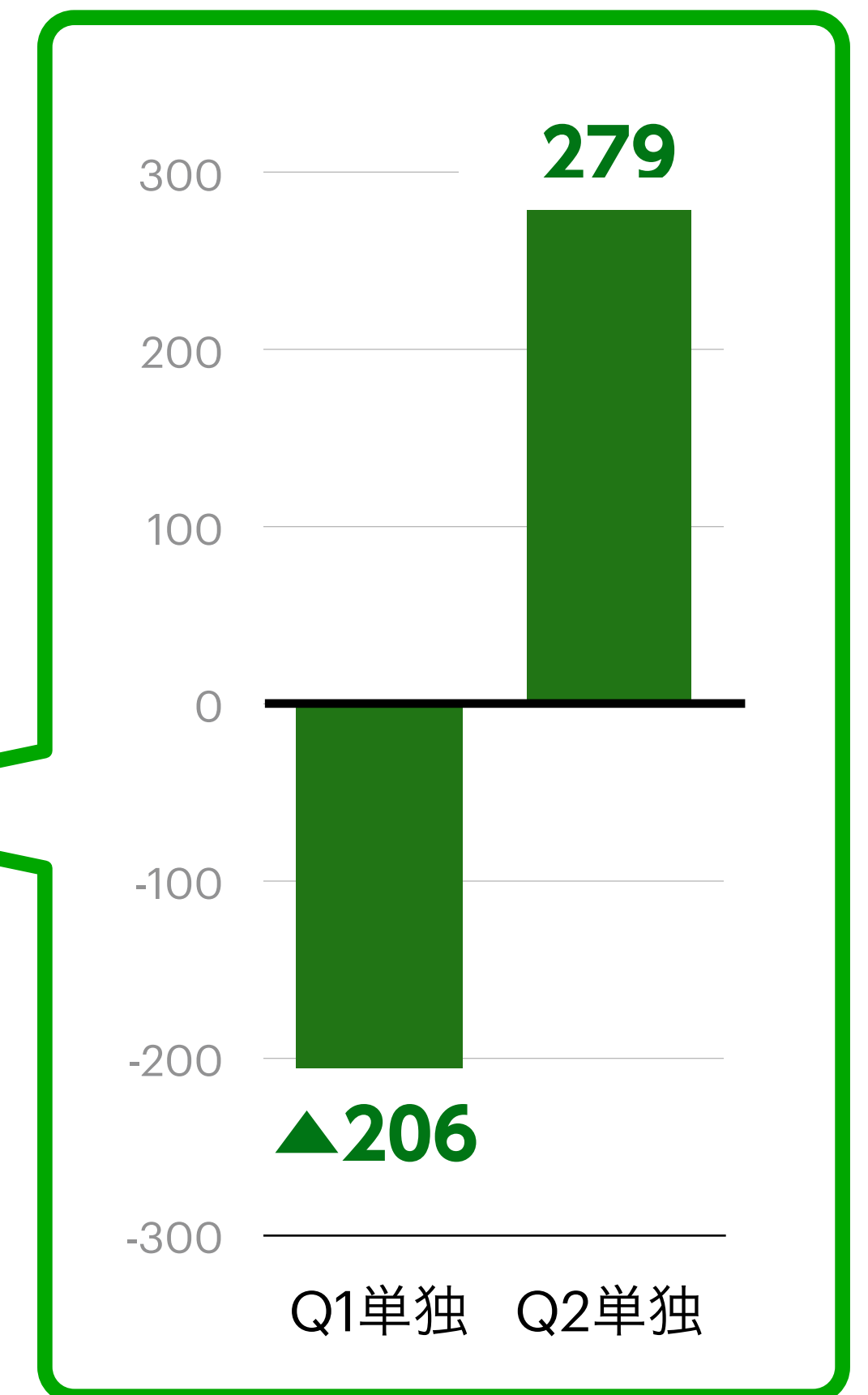


**営業利益
黒字化を達成**

連結営業利益

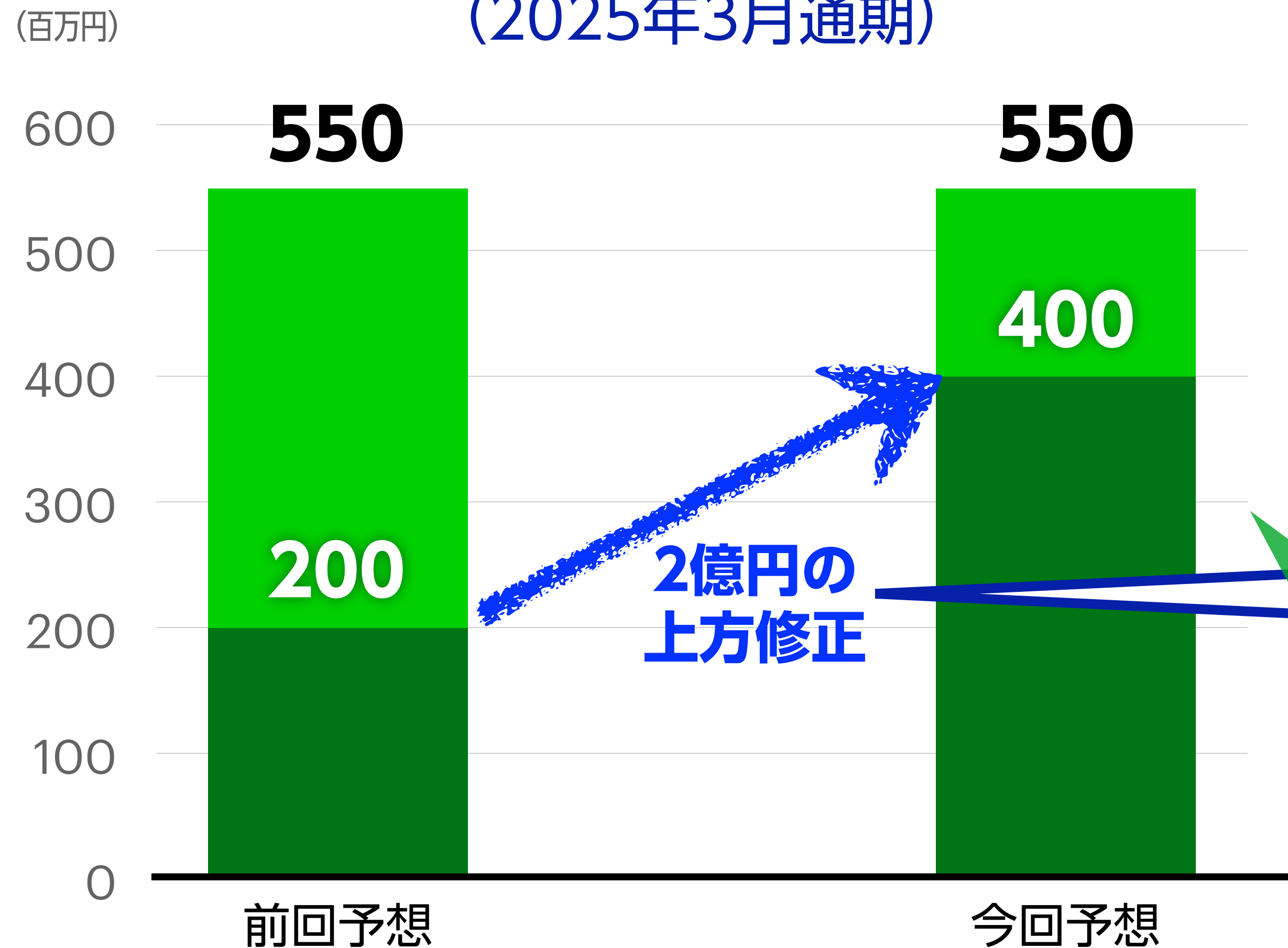


四半期単独推移

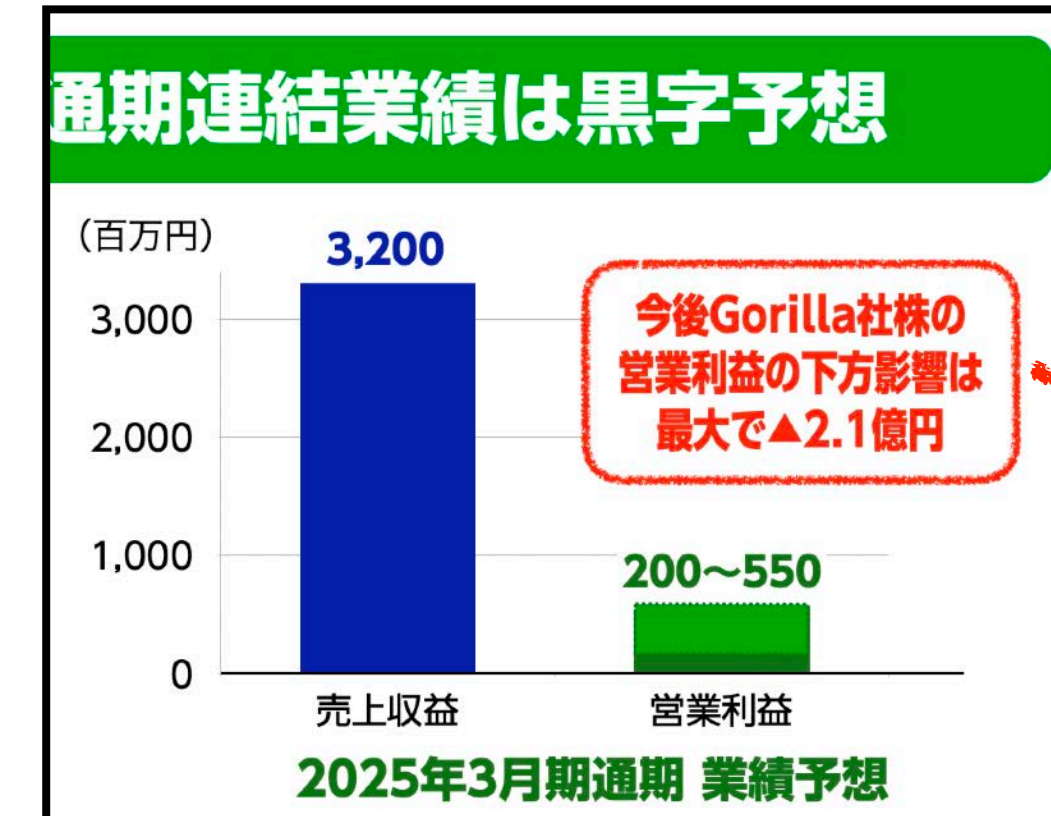


業績予想：営業利益の上方修正

営業利益予想 (2025年3月通期)



第1四半期決算説明より

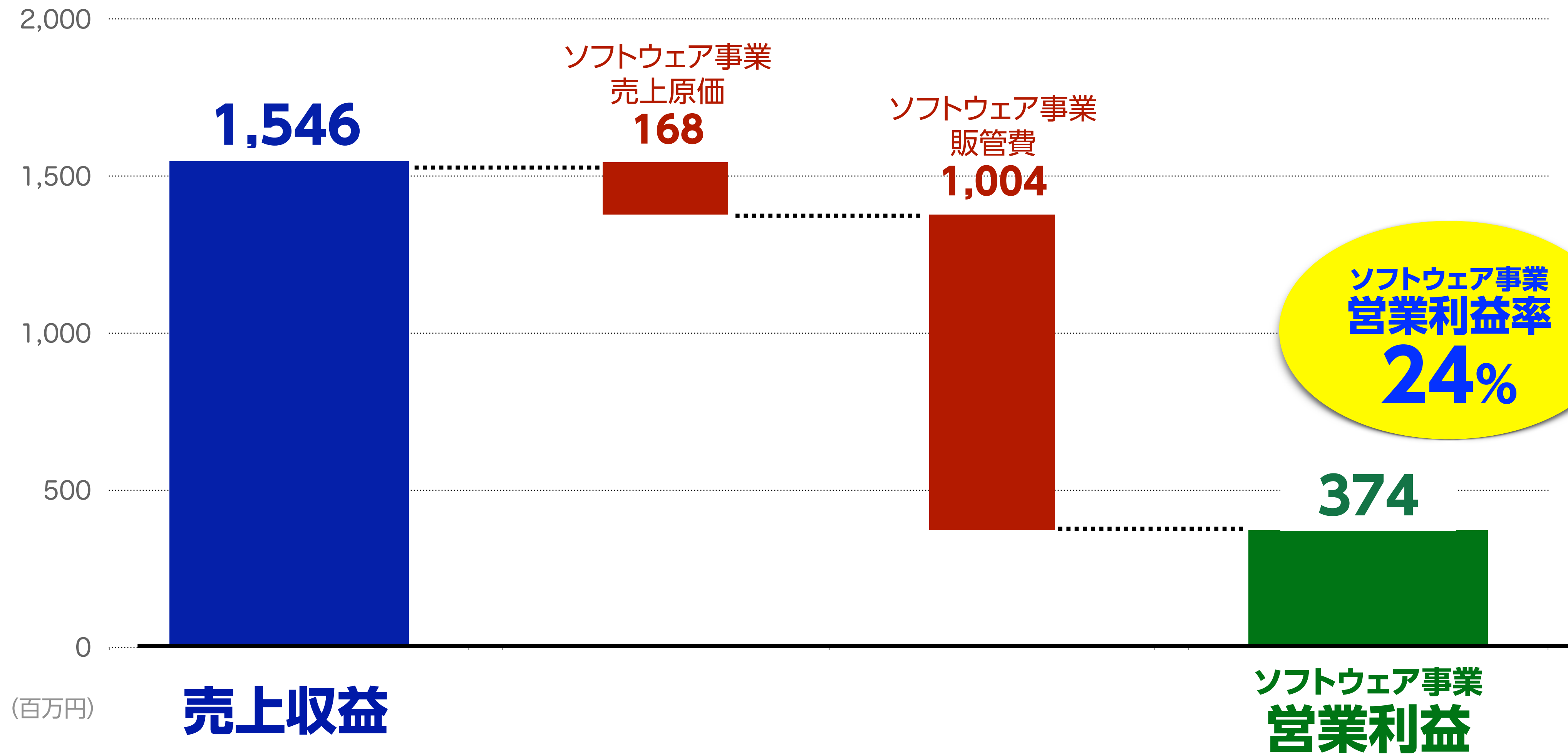


このリスクがゼロに

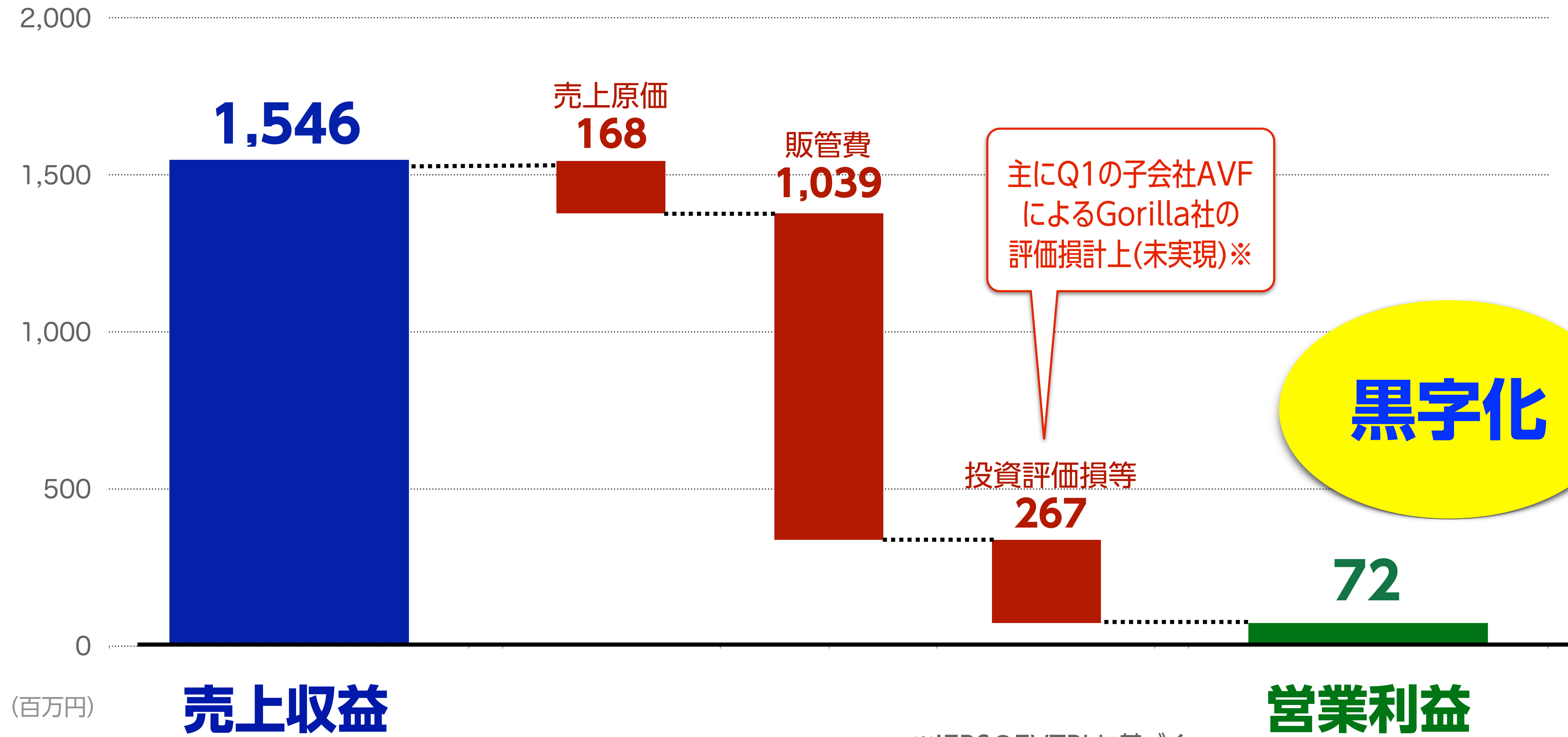
**Gorilla株売却完了で
約2億円のリスク低減**

→ 今後はGorilla株の影響無し

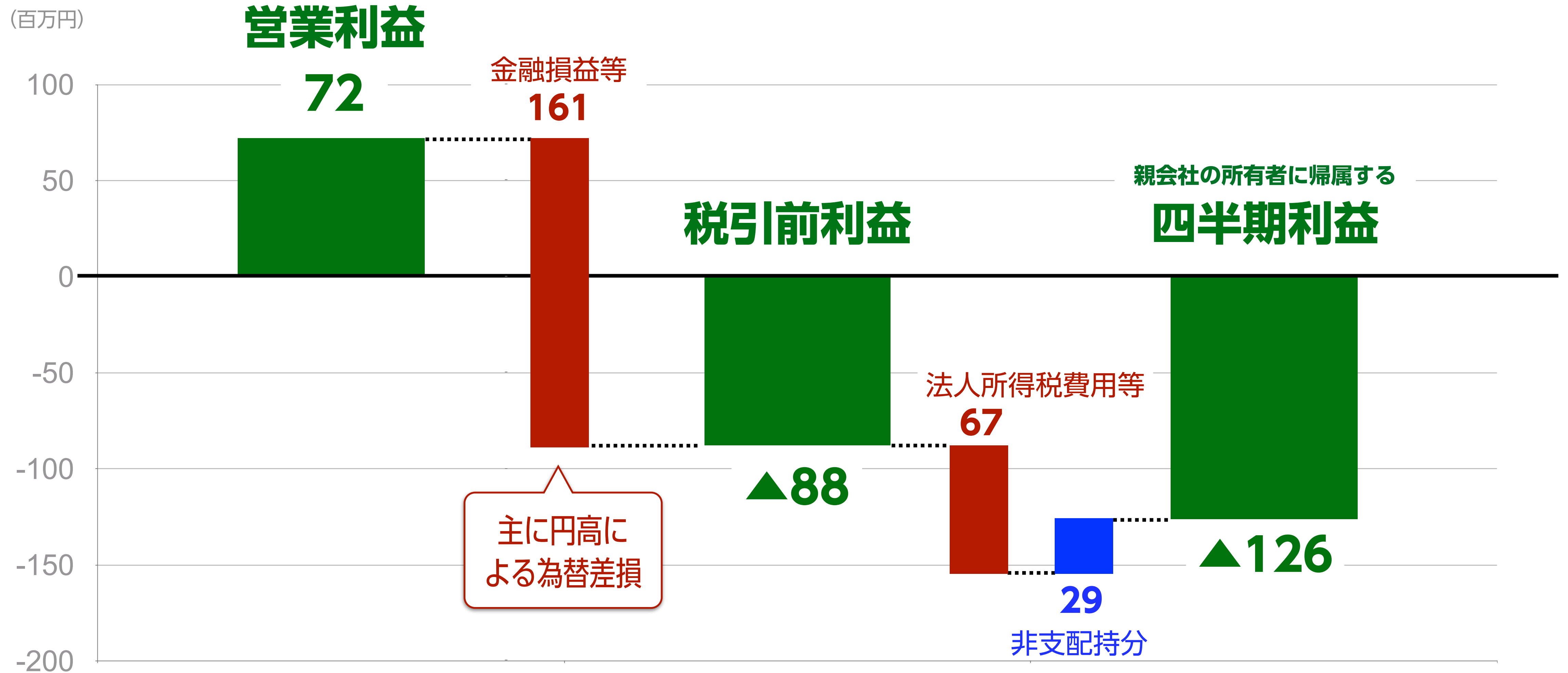
ソフトウェア事業:売上収益から営業利益まで



連結: 売上収益から営業利益まで

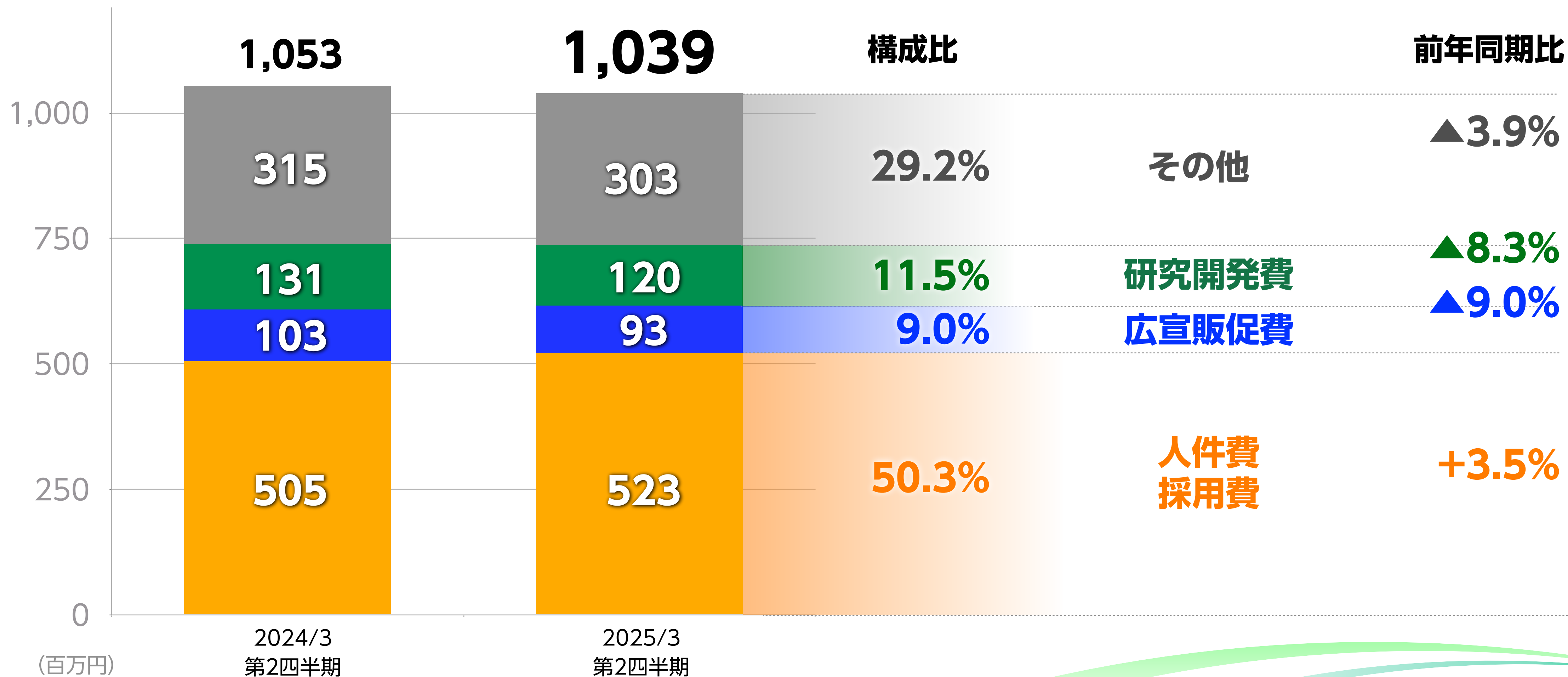


連結：営業利益/税引前利益/四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)



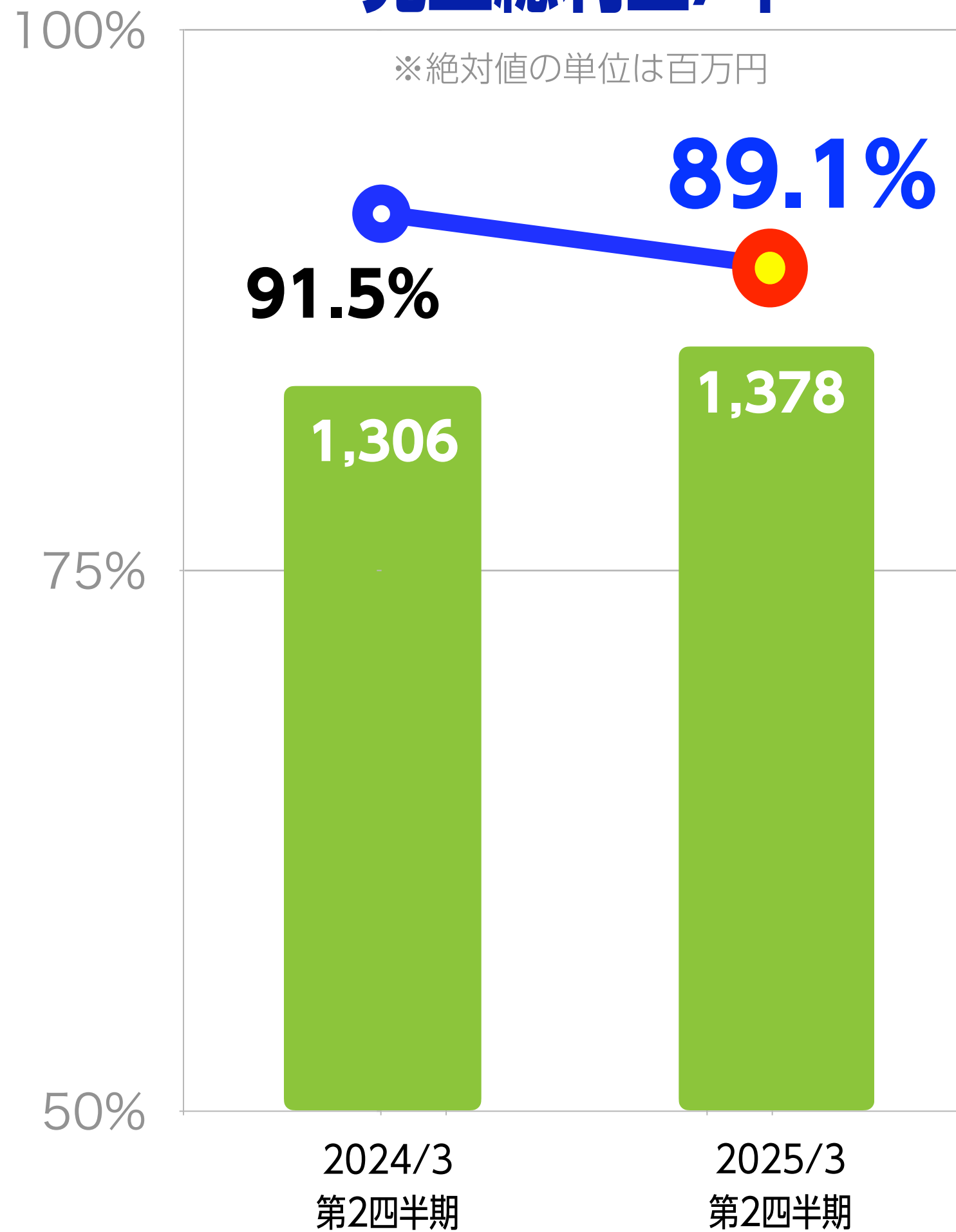
販売管理費の推移(前年同期比)

◆ 売上収益増でも販管費は効率化し利益に貢献

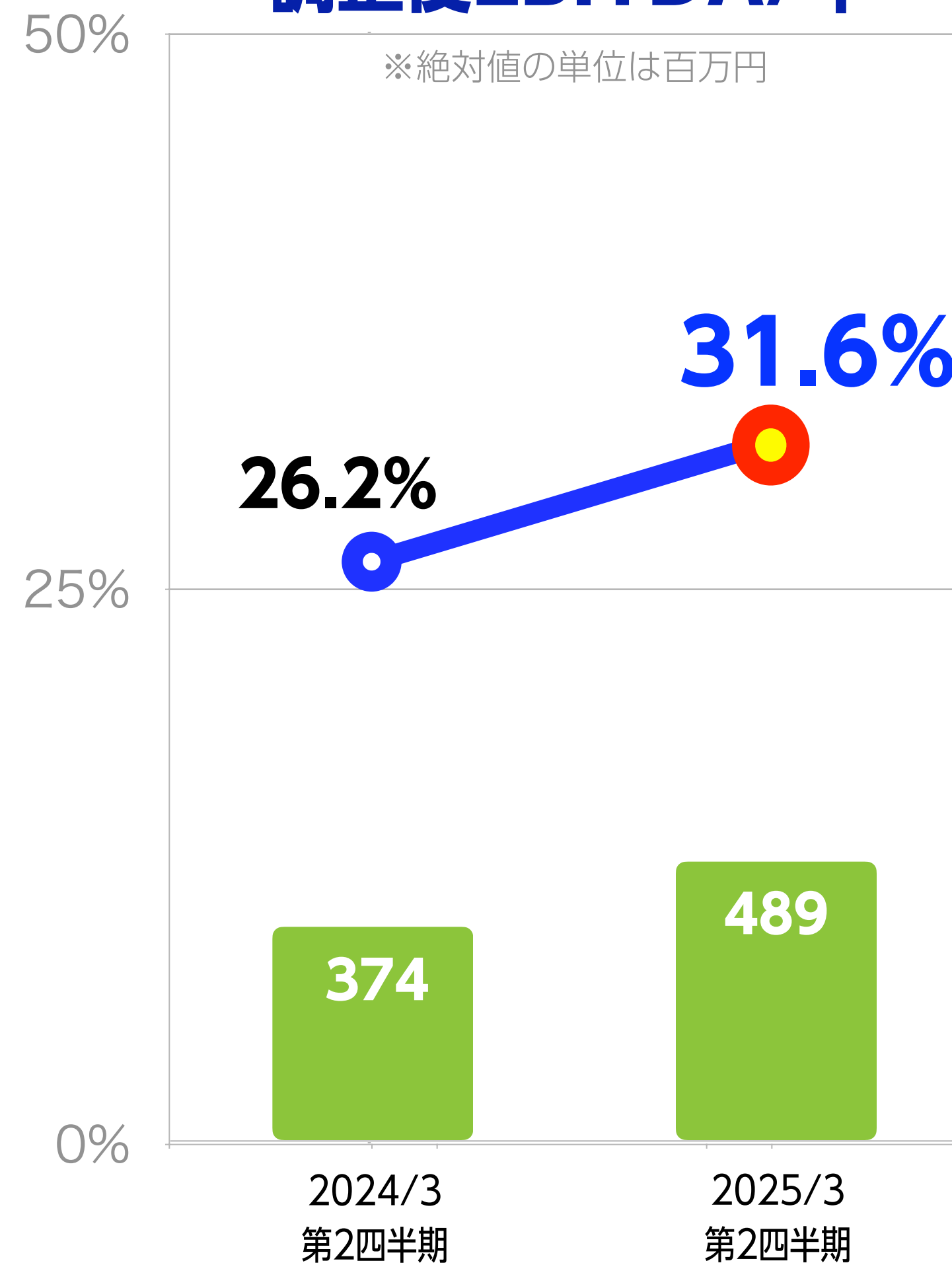


主な経営指標の推移

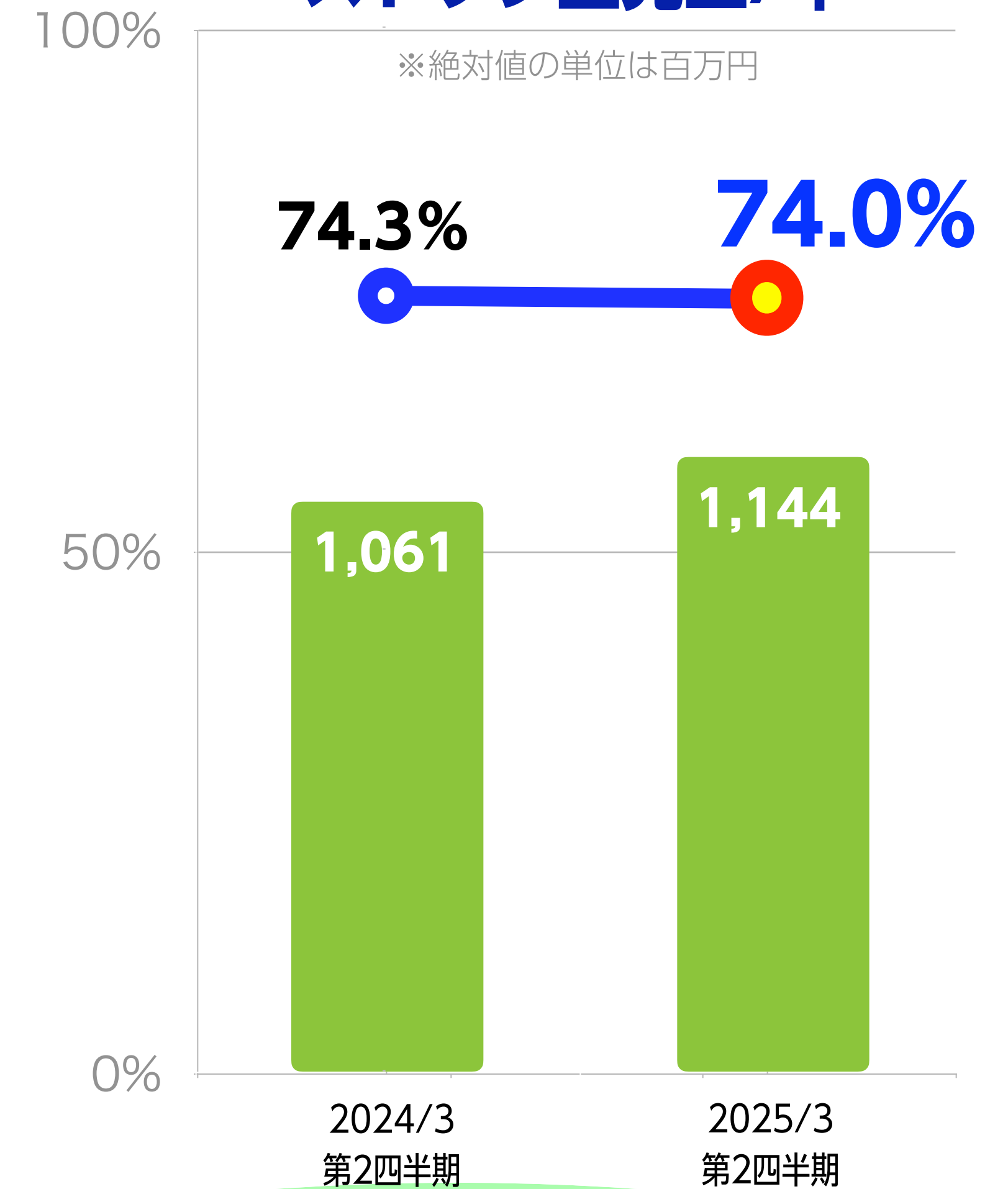
売上総利益/率



調整後EBITDA/率



ストック型売上/率



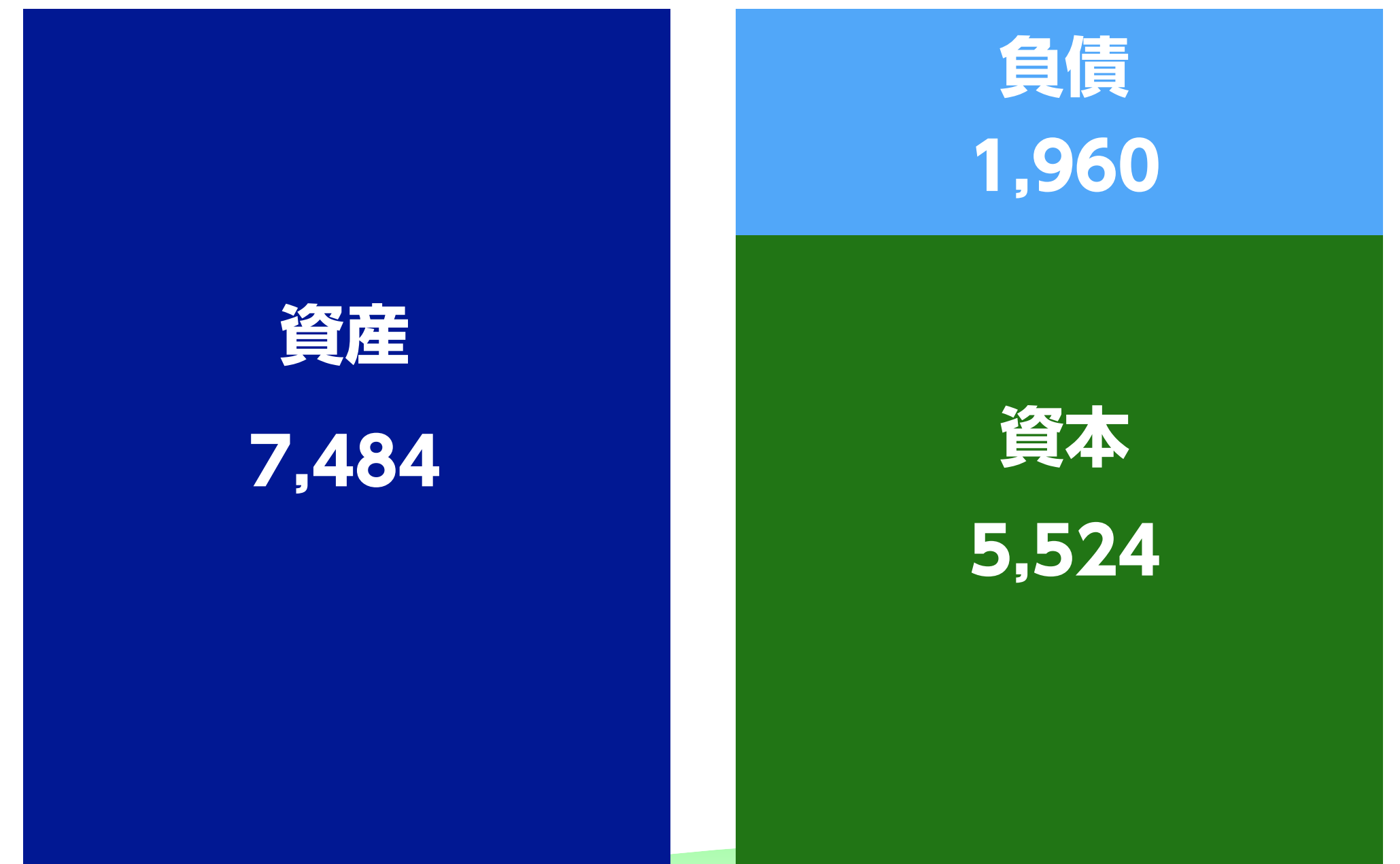
財政状態計算書 (9月末現在)

◆ 将来的な減損の要因となりうる「のれん」は0

	2024年3月末	2024年9月末	増減	
資産の部	現預金等	1,731	2,881	1,150
	営業債権	177	181	4
	その他流動資産	598	77	▲ 521
	有形固定資産	938	839	▲ 100
	のれん	0	0	0
	無形資産	241	288	47
	投資等その他	3,901	3,218	▲ 683
	資産合計	7,587	7,484	▲ 104
負債の部	借入金	243	243	0
	営業債務	113	112	▲ 1
	未払法人所得税等	0	115	115
	その他流動負債	892	1,040	147
	長期借入金	215	143	▲ 71
	その他非流動負債	367	307	▲ 61
負債合計	1,830	1,960	129	
資本の部	株主資本	4,835	4,650	▲ 186
	その他資本の構成要素	747	771	24
	非支配持分	175	103	▲ 72
	資本合計	5,757	5,524	▲ 233

◆ 健全な財務状況とキャッシュ・フローを継続

自己資本比率	PBR(株価純資産倍率)
74%	1.68

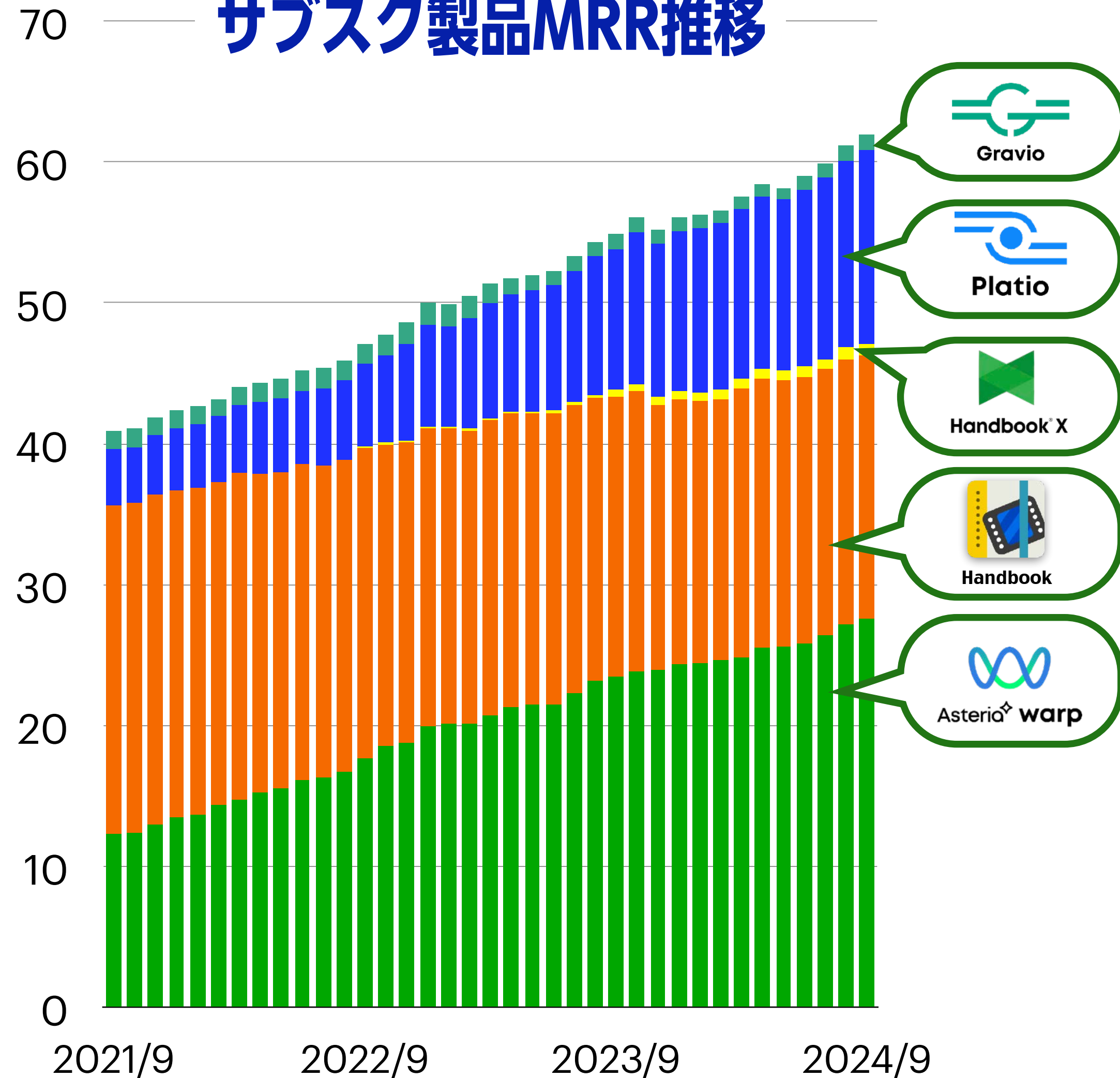


事業別の概況と 今後の戦略

着実に伸びるソフトウェア製品のMRR

(百万円)

サブスク製品MRR推移



ノーコード需要拡大の背景

- ◆ **人手不足・人材不足**
→ デジタル化により必要人数や残業を削減
- ◆ **2025年の崖** (出典: 経済産業省DXレポート)
→ レガシーシステムの刷新 & 新技術への対応
- ◆ **SAP2027年問題** (旧版ERPの保守終了)
→ システム更改でデータ連携需要が拡大
- ◆ **デジタル行財政改革**
→ システム基盤刷新 & ガバメントクラウド導入

Asteria[☆] warp

上半期最高売上の 7.2億円を記録

- ✓ サブスクシフトを継続しつつ
上半期売上が前年同期比**10%増**
- ✓ サブスクも上半期最高の
1.6億円を記録
- ✓ スtock売上比率**70%以上**
- ✓ サブスク&サポートの
上位版ラインアップ提供開始



Platio

上位版への移行に伴う 単価向上

- ✓ 上半期売上が前年同期比**40%増**
- ✓ **Platio Connect++**を提供開始
Platioファミリーをさらに拡充
- ✓ 部門単位での利用から
全社利用への移行も加速



スマホアプリ制作ツール部門
5つの項目でNo.1を獲得
Good Serviceも受賞



データ連携の需要 が引き続き加速

- ✓ SAP2027年問題対策としての
基幹システムの連携ニーズが増加
- ✓ **自治体の基幹システム標準化**に伴う
移行ニーズの引き合いが加速
- ✓ **非IT人材や、中小企業**をターゲットとした
プロモーションを強化
- ✓ **サイボウズ、OBC、SmartHR**など
ISVパートナーとの連携も強化



2024年問題/人材不足を ノーコードアプリで解決

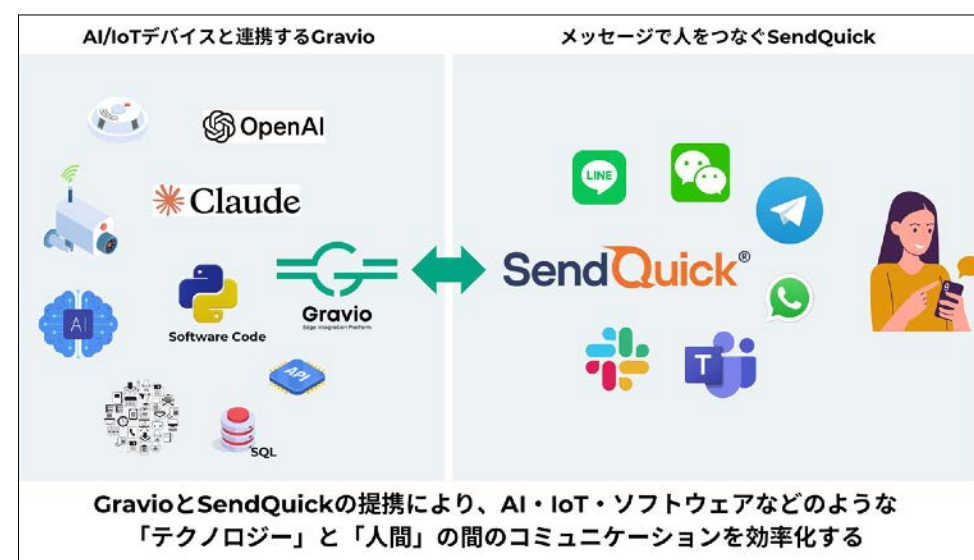
- ✓ ノーコードアプリによる業務の
デジタル化で**IT人材不足**を解決
- ✓ **2024年問題**対策として
物流・建設業界の新規顧客開拓
- ✓ 既存顧客の全社利用など
アップセルを加速



置き配式の配達状況を
アプリで確認(洛西貨物)

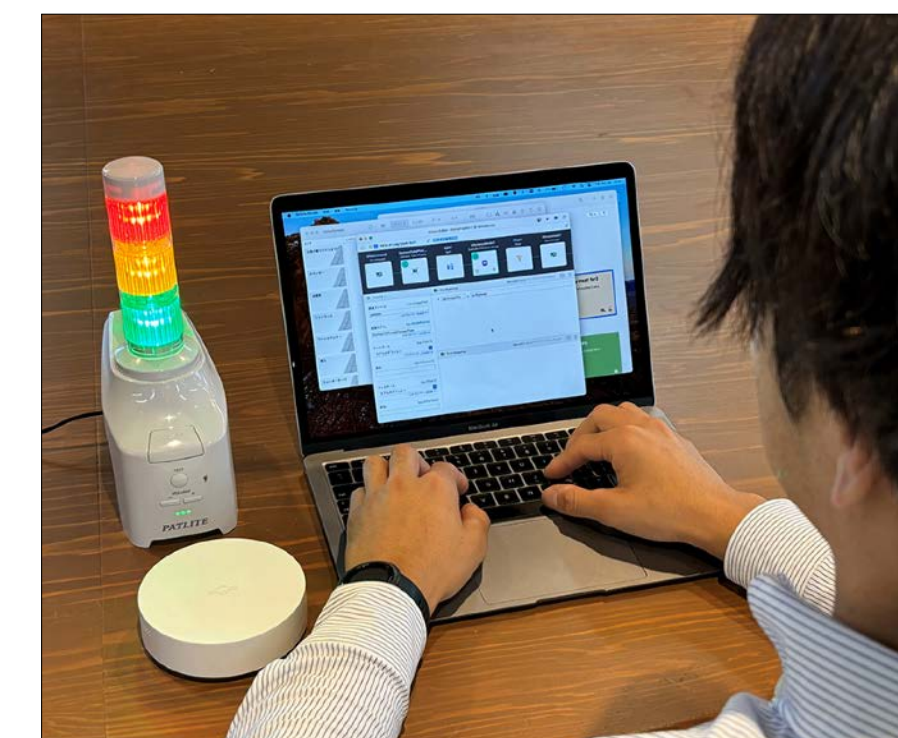
◆SendQuick (シンガポール)

- ✓ Slack・Teamsなど14種のメッセージアプリと連携
- ✓ AI・IoTとメッセージングの連携サービスを展開



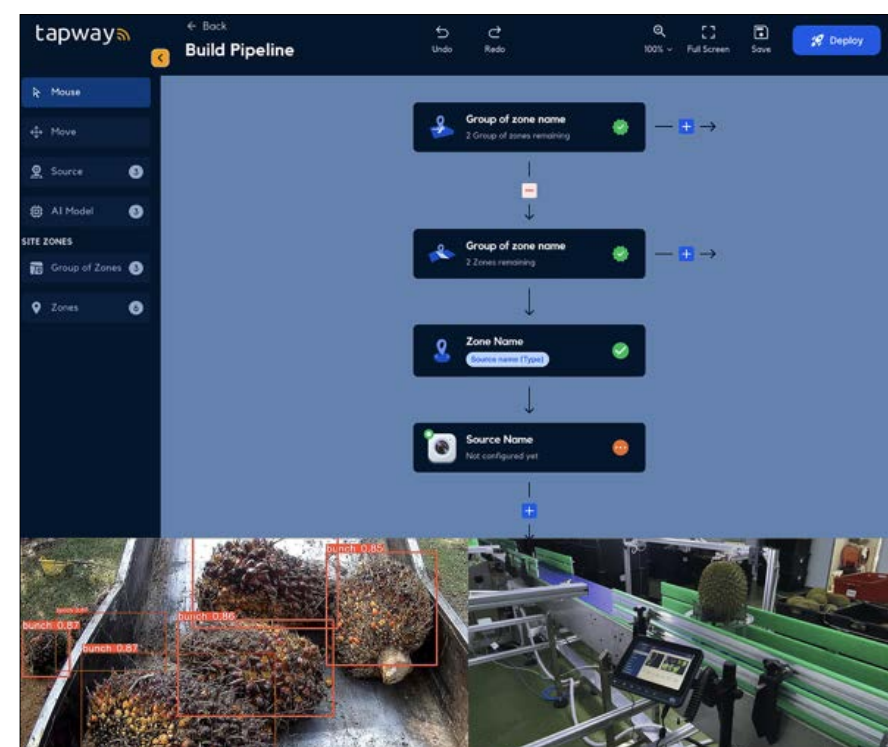
◆Lilz (日本)

- ✓ 新規参画：LiLz Gauge 「コラボレーションパートナー」
- ✓ アナログメーターのリモート点検ツールと連携



◆Tapway (マレーシア)

- ✓ AI・IoTサービスを共同開発
- ✓ マレーシアをはじめとした東南アジアと日本市場の相互に新規参入



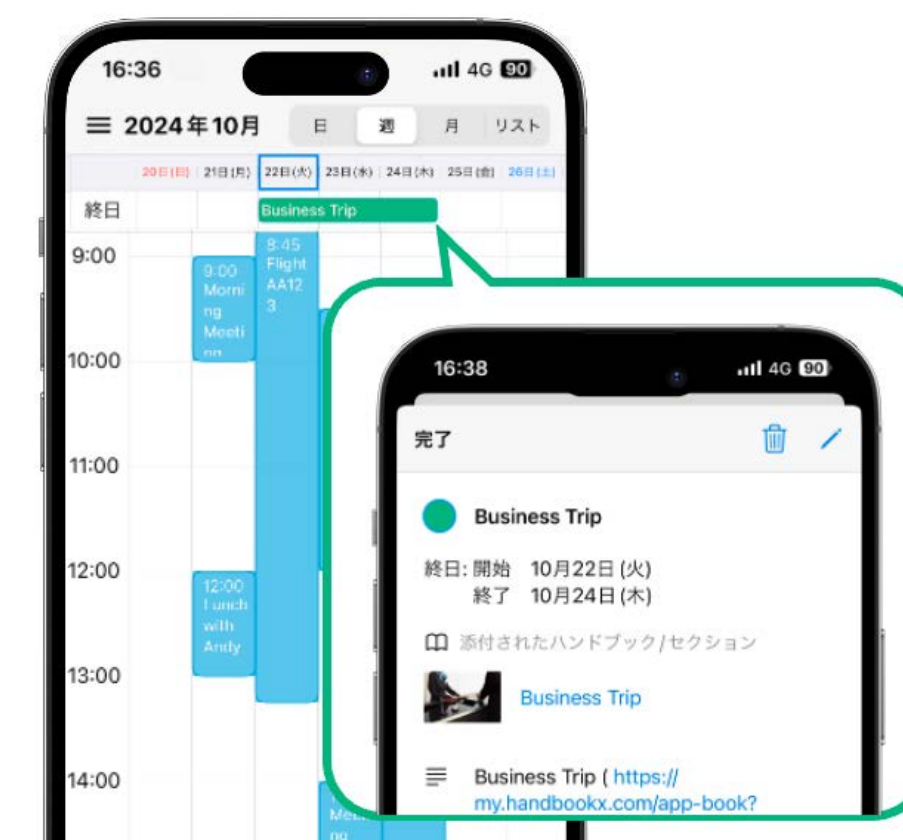
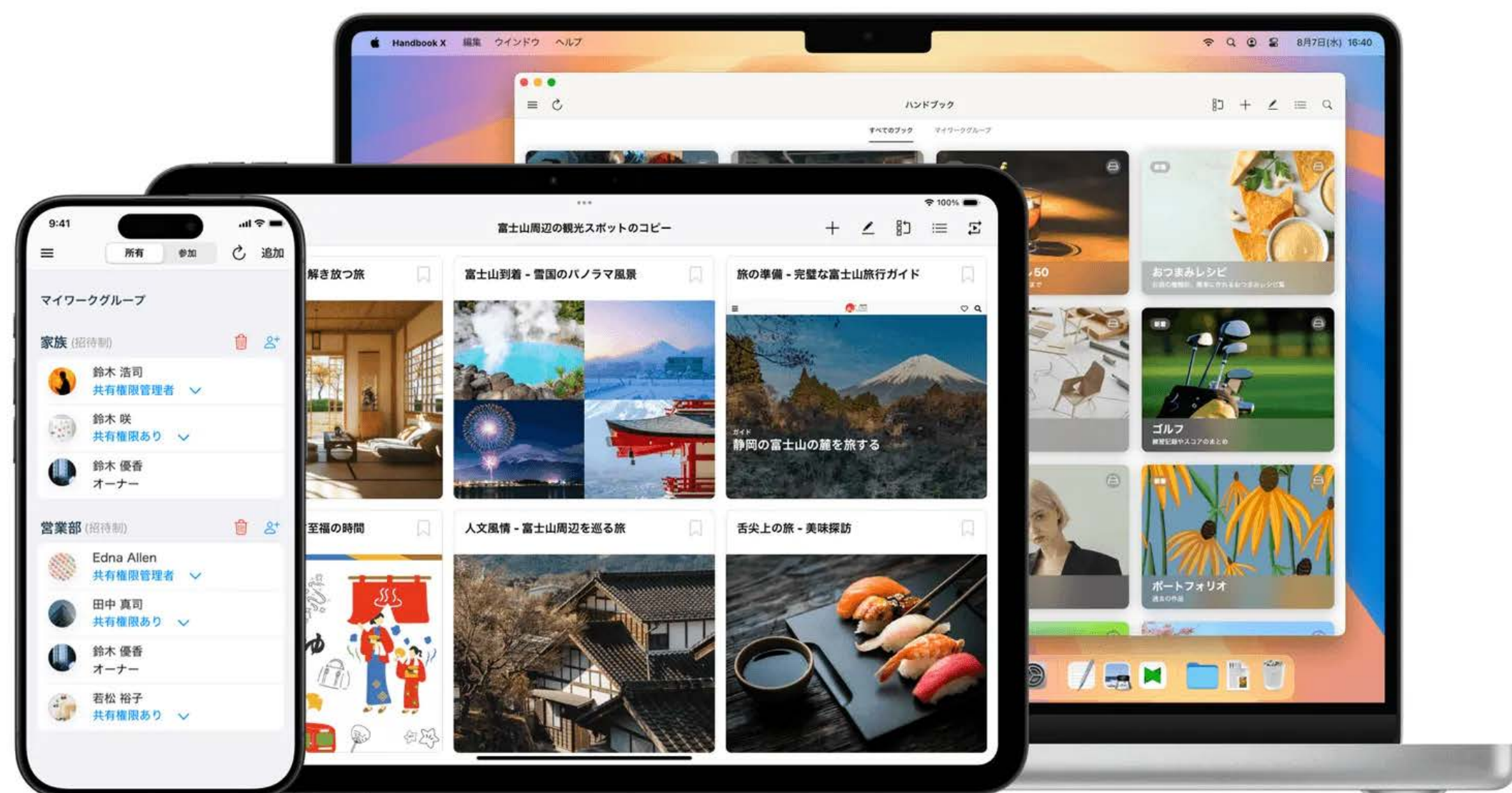
◆Axis (スウェーデン)

- ✓ エッジAI分析カメラと連携
- ✓ 人流の見える化や防犯システムで活用



◆フリーランス新法 施行に合わせて「Handbook X」新版 提供開始

- ✓ **カレンダー**機能、**メモ**機能等を新たに搭載
- ✓ **利便性を向上**し、個人事業・副業・コミュニティ活動を支援
- ✓ 専任新組織(4月発足): **ネット直販**を強化&**グローバル**展開





2025年3月期 第2四半期決算説明会

お問い合わせ:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)

